

## 本物の芸術に触れて…芸術の秋到来

9/4(月)、美術による人材育成を目指し、県芸術文化スポーツ振興財団などで行くアートフル大分プロジェクト実行委員会が主催する「中津巡回展」が小幡記念図書館と木村記念美術館で開催され、今中の1年生が本物の作品を県立美術館学芸員やボランティアガイドの説明を聞きながら鑑賞しました。芸術の秋をいち早く体感したようです。なお、大分合同新聞(9月6日付け朝刊)に今中の生徒の写真とともに記事が掲載されています。

## 力作が勢ぞろい！「夏休み作品展」

生徒たちが夏休みに作成した作品の展示が校内で行われています。どの作品にも生徒の思いが込められており感激しました。「ものづくり」に挑戦することは大切なことです。作品を通して自分を表現し、多くの人たちにメッセージを伝える。「創意工夫」するとは、今までの学習・経験・体験・感動を基にして、新しいものを表現し生み出すことです。これからの時代は、まさに「クリエイティブ」な力が必要とされます。

## 生徒が創り上げる体育大会！「僕たちがやりました」～爽・走・創～

今年度の体育大会スローガンが《「僕たちがやりました」～爽・走・創～》に決まりました。今津中の一人ひとりの生徒が実行委員会を中心に、体育大会を創り上げ、達成感を味わい、最後に「僕たちがやりました」と大きな声で言える体育大会を目指したいという気持ちが表れています。爽やかに競技に取り組む姿、全力で走り抜く姿、新しい体育大会を創り上げようとする姿。短い練習期間ですが、素晴らしい体育大会を期待しています。

## 「むのたけじ氏」について

「今週のことば」で紹介している「詞集たいまつ」の作者である、むのたけじ氏を紹介します。1915年秋田県生まれ。「戦争廃絶」を訴え続けたジャーナリスト。報知、朝日新聞社で記者として活躍する。戦争中は、中国、東南アジア特派員。戦後は、太平洋戦争の戦意高揚に関与した責任をとり退社する。その後は、雑誌「たいまつ」を中心に、一貫して反戦の立場から、言論・執筆活動を続けた。2016年8月、101歳で惜しまれながらこの世を去る。

むのたけじ氏のことばは、「生きたことば」であると思います。人生の中で大きな壁が立ちはだかった時、力強くエールを贈ってくれる、「魂のメッセージ」のように思えます。

## 今週のことば むのたけじ「詞集たいまつ」より

信じれば信じられるとは限りません。しかし、こちらが相手を信じることなしに、相手に信じられることはありません。

愛すれば愛されるとは限りません。しかし、相手を愛することなしに、相手に愛されることはありません。